



環境省「第7回 脱炭素先行地域」への 高松市との共同提案および選定について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、環境省が募集する「脱炭素先行地域」において、高松市（高松市長 大西 秀人）と当行を含む23団体が別紙記載の事業について共同提案をおこない、このたび、高松市が脱炭素先行地域に選定されましたのでお知らせします。

当行は、今後も地域金融機関として、地域の脱炭素化への取組みを支援してまいります。

【脱炭素先行地域とは】

2050年カーボンニュートラルに向け、2030年度までに脱炭素の先進的な取組みを推進するとともに、地域課題の解決や地域経済の活性化を図るなど、地方創生と脱炭素を同時実現するモデルとして国が選定するもので、今回の選定分を含め、これまでに全国で合計102カ所が選定されました。7回目となる今回は、全国から18件の応募があり、高松市を含め12件が脱炭素先行地域として選定されました。

＜授与式の模様＞



【関連URL】

環境省ホームページ

「脱炭素先行地域選考結果（第7回）」について（2026年2月13日）

https://www.env.go.jp/press/press_02799.html

以上

【事業概要】

事業名	人と物が集まり にぎわいを生む ウォーターフロント サンポート高松から始まる さらなる一歩 ～選ばれ続ける都市・港へ脱炭素でおもてなしプロジェクト～
共同提案者	株式会社百十四銀行 四国電力株式会社 国立大学法人香川大学 一般財団法人もりとみず基金 うみのまちづくり株式会社 JR四国ステーション開発株式会社 公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー 株式会社タダノ 株式会社マキタ 湊海運株式会社 四国ドック株式会社 イヌイ株式会社 四国ガス株式会社 泉鋼業株式会社 ジャンボフェリー株式会社 高松商運株式会社 大同ガス産業株式会社 大豊産業株式会社 八千代エンジニアリング株式会社 株式会社穴吹ハウジングサービス 株式会社Luup 合同会社四国まちづくり&おもてなしプランニング 高松シンボルタワー管理協議会
計画期間	2026年度～2030年度（5年間）
脱炭素化に関する 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素都市として魅力を高め、人や企業から「選ばれ続ける都市・港」へ ・地域と共生する持続可能な再エネ発電モデルを展開 ・EV船を核とした「サステナブルツーリズム」の推進 ・高松港におけるCNP（カーボンニュートラルポート）の加速化
百十四銀行の役割	金融機関として各需要家、発電事業者を支え、再エネの地産地消のスキームを確立するため、事業検討において専門的なアドバイスを提供

高松市：人と物が集まりにぎわいを生む ウォーターフロント サポート高松から始まる さらなる一歩

～選ばれ続ける都市・港へ 脱炭素でおもてなしプロジェクト～

脱炭素先行地域の対象：サポート高松エリア（玉藻地区）、エネルギー供給エリア（ため池、西部クリーンセンター、南部クリーンセンター）

主なエネルギー需要家：集合住宅（3棟181戸） 民間施設（23施設） 公共施設（7施設）

共同提案者：(株)百十四銀行、四国電力(株)、国立大学法人香川大学、(一財)もりとみず基金、うみのまちづくり(株)、JR四国ステーション開発(株)、(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、(株)タダノ、(株)マキタ、湊海運(株)、四国ドック(株)、イヌイ(株)、四国ガス(株)、泉鋼業(株)、ジャンボフェリー(株)、高松商運(株)、大同ガス産業(株)、大豊産業(株)、八千代エンジニアリング(株)、(株)穴吹ハウジングサービス、(株)Luup、(同)四国まちづくり&おもてなしプランニング、高松シンボルタワー管理協議会

取組の全体像

四国の玄関口であり**観光・交流・物流機能が集積**され、**カーボンニュートラルポート(CNP)**を目指している高松港の交流拠点・人流関連ゾーンとなっている「サポート高松」エリアにおいて、**企業認定制度**及び**地域エコポイント制度**を創設。官民連携し、サステナブル・脱炭素に貢献する商品・サービスの創出・拡大とそれを活用した**地域経済の活性化・賑わい創出**という好循環を生み出す。また、面積密度で全国一の地域資源である一方で、高齢化等から維持管理が課題となっているため池へ太陽光発電設備を導入し、**ため池と発電設備の保全管理を一体的に運用するスキームの組成**や売電収益の還元を通して、**地域ニーズに沿った再エネの活用方法の確立**を目指す。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① **ため池の保全管理と一体型**のオフサイト太陽光発電設備(3件、約4,000kW)の導入
- ② **産業部門の民間事業者と連携**し、設置する太陽光発電設備(約800kW)の余剰電力を活用
- ③ **設置に課題が多い既築高層ビル**である高松シンボルタワーの屋上に太陽光発電設備(約10kW)を導入
- ④ 外資系高級ホテルにおいて**国内初の外資系ホテル単独用途におけるZEB Ready化**
- ⑤ エリア内のホテル等から**食品残渣を回収するスキームを構築**し、廃棄物発電のバイオマス比率の向上に寄与



サポート高松エリア



ため池への太陽光発電の導入

2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① **観光・ビジネスの移動手段**であるEV観光船、EVカーシェア、E-BIKE等のマイクロモビリティの導入
- ② 地域金融機関と連携し、セミナー開催のほか、SBT認証取得やサステナビリティ・リンクローンの活用等を後押しし、**中小企業の脱炭素経営の促進**及び**CNPの推進**に貢献

3. 取組により期待される主な効果

- ① 官民連携した**企業認定制度・地域エコポイント制度**の創設とサステナブル・脱炭素の商品・サービスの利活用を推進することで**地域経済の活性化、交流人口の拡大**による**賑わい創出**を実現
- ② ため池と太陽光発電の一体的な保全管理のスキームと収益の地域還元による、**ため池の維持・管理という地域課題の解決**と**地域共生型再エネの展開**に貢献
- ③ 県の「高松港港湾脱炭素化推進計画」と連携し、**民生部門の取組推進による機運醸成**を図り、**産業部門の取組への展開・CNPの実現**に貢献
- ④ 脱炭素化を契機としたEV船や様々なモビリティの導入による**運輸部門の脱炭素化と回遊性の向上、観光活性化を同時実現**

4. 主な取組のスケジュール

